

## i 制度の概要

東京にある芸術・音楽・伝統芸能や伝統工芸、神社仏閣や歴史的な建造物等の**日本文化を活用した観光振興**を支援する制度です。文化・芸術団体の専門性を活かしながら地域資源と効果的に結びつけ、持続的な賑わい創出を目指します。

新たなイベント事業や情報発信事業を通じて、**地域内の周遊促進や再来訪促進**など観光需要の創出に取り組む事業が対象となります。

## 🗨️ 支援内容

## □ A協議会事業

- ☐ 3者以上が連携し設置する協議会
- ☐ 文化・芸術団体を1者以上含むこと

最大1,300万円

助成率：2/3以内

## □ B協議会事業

- ☐ 2者以上が連携し設置する協議会
- ☐ 観光協会又は商工会等を1者以上含む

最大600万円

助成率：2/3以内

## 👁️ 対象となる取組

## 【新たなイベント事業】

- ☐ 日本文化と地域資源を結びつけた事業
- ☐ 観光振興を図る目的の新規事業
- ☐ 地域周遊や再来訪促進につながる事業

## 【新たな情報発信事業】

- ☐ 日本文化の魅力を伝える発信事業
- ☐ 観光需要創出につながる情報発信
- ☐ 外国語対応を含む情報発信

## 👥 対象者

- ☐ **観光協会、商工会等**から構成される協議会
- ☐ 商店街、町会・自治会が参加する協議会
- ☐ 文化・芸術団体、民間企業等の協議会

## ⚠️ 補足事項

- ☐ SDGsを意識した取組実施が必要
- ☐ 外国語対応（英語含む1か国以上）必須
- ☐ アクセシブル・ツーリズムへの配慮

## 💡 採択率向上のポイント

- ☐ **文化資源の活用**：東京の特色を活かした企画
- ☐ **地域連携強化**：複数団体の協力体制
- ☐ **観光需要創出**：具体的な集客効果
- ☐ **継続性確保**：事業の持続可能性

## 📊 戦略的分析

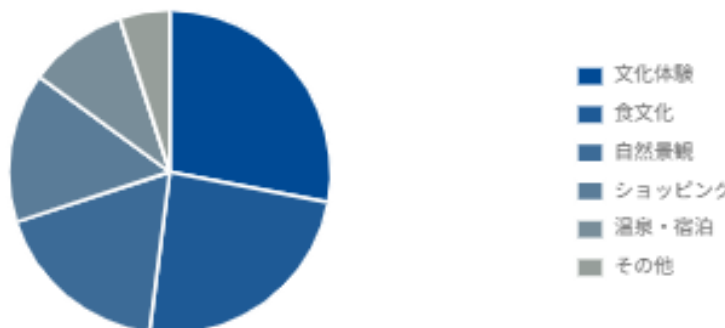
## 【文化観光の市場動向】

- ☐ **インバウンド回復**により文化体験需要が増加中
- ☐ 伝統文化と**現代要素の融合**が注目される
- ☐ 地域固有の**ストーリー性**が重要な差別化要因

## 【成功事例の特徴】

- ☐ **多世代対応**の体験プログラム設計
- ☐ デジタル技術を**効果的に活用**した発信
- ☐ 地域住民の**主体的参加**を促進する仕組み

## 📈 観光動機の分析



**文化観光への関心（2024年調査）**：訪日外国人の78%が日本文化体験を希望

**リピート率**：文化体験参加者の再来訪率は約65%（全体平均45%）

## 💡 効果的な企画例

| 文化分野  | 効果的な取組例        |
|-------|----------------|
| 伝統工芸  | 職人との対話型ワークショップ |
| 伝統芸能  | 体験型パフォーマンス     |
| 歴史建造物 | AR技術を活用した案内    |
| 食文化   | 地域食材を活かした料理体験  |
| 祭り・行事 | 参加型イベントの企画     |

## 👤 専門家活用のおすすめ

- ☐ **観光コンサル**：集客戦略と効果測定手法
- ☐ **文化専門家**：伝統文化の価値を的確に伝達
- ☐ **デジタル専門家**：効果的な情報発信手法
- ☐ **多言語対応**：外国人向けコンテンツ制作

## 📋 必要書類とチェックポイント

\*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/26作成】

| 提出書類     | チェックポイント                                                                                                                                                   |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 助成金交付申請書 | <input type="checkbox"/> <b>協議会構成</b> が要件を満たすか確認<br><input type="checkbox"/> 文化・芸術団体の <b>参加有無</b> を明記<br><input type="checkbox"/> 事業目的と <b>観光振興効果</b> を具体化 |
| 実施計画書    | <input type="checkbox"/> 日本文化活用の具体的な方法<br><input type="checkbox"/> 地域資源との連携方針                                                                              |
| 収支予算書    | <input type="checkbox"/> 助成対象経費の明確な区分<br><input type="checkbox"/> 自己負担分の資金調達計画                                                                             |
| 協議会規約等   | <input type="checkbox"/> 協議会の意思決定体制<br><input type="checkbox"/> 会計管理の責任体制                                                                                  |

## 📅 申請スケジュール

## ● 事前準備期間

協議会設立・規約整備に1～2ヶ月程度。関係団体との調整が重要。  
事業内容の具体化と予算策定。

## ● 公募期間

**2025年8月20日（火）～10月15日（火）**

東京観光財団への書類提出。  
※提出締切は17時まで（必着）

## ● 審査期間

10月下旬～11月中旬（予定）

## ● 採択結果通知

2025年11月下旬頃  
すべての申請者に対して通知

## ● 交付決定・事業開始

**交付決定日～令和9年3月31日**  
事業完了・実績報告は事業終了後30日以内

## ❓ 問い合わせ

|        |                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 制度詳細   | <a href="https://www.tcvb.or.jp/jp/news/2025/0820_6670/">https://www.tcvb.or.jp/jp/news/2025/0820_6670/</a> |
| お問い合わせ | 公益財団法人東京観光財団<br>地域振興部事業課<br>TEL: 03-5579-2682<br>※お問い合わせは制度詳細ページよりお願いいたします。                                 |